

巻頭言

〈小特集〉 間文化現象学ワークショップ
「エコノミーと間文化性」

今回の小特集は、科研費プロジェクト「間文化性の理論的・実践的探究——間文化現象学の新展開」（代表：加國尚志）にもとづき、その研究拠点である本学・間文化現象学研究センターにおいて、2017年3月16日に開催された、ワークショップ「エコノミーと間文化性」の発表原稿を集めたものである。

科研費プロジェクトは、平成26年（2014年）から5年間にわたって継続し、年度ごとに重点研究のテーマを設定している。これまで、1年目は「視覚」、2年目は「制度」をテーマとしたが、今回3年目のテーマは「エコノミー」であり、このテーマを軸にして上記のワークショップを開催する運びとなった。

今回の研究発表者は、亀井大輔氏、佐藤勇一氏の2名であった。そして、コメンテーターとして、滋賀大学の藤岡俊博氏をお招きした。「エコノミー」は、通常の「経済」という語義とは、ある程度まで重なりつつもその射程を異にする概念である。ワークショップでは、この、近年注目されているがなお未開拓な問題系に向かって、間文化現象学の観点から重要な切り込みがなされた。このことが活発な討議を引き起こすことになった。

しかしまた、このワークショップは、開催日の当日だけに集中して取り組まれたものではない。上記の発表者たちは、間文化現象学研究センターとそこにおいて定期的で開催されてきた研究会で、たがいに問題意識を研ぎ澄ましあってきた。そうした蓄積のうえで、ワークショップが開催されたのである。

今回も、発表者、コメンテーターのみなさま、そして、ワークショップを支えていただいた人文科学研究soのみなさまに感謝申し上げます。そしてまた、協力していただいた大学院生諸君にも感謝申し上げます。

文学部教授・間文化現象学研究センター長
谷 徹